



～絆を深めて Keep Smile～

第48号 令和2年8月4日(火)

特集：学級担任の思い～教科担任制と学級担任制の利点を！～

私達は、教科担任制度のもと、子ども達には日々充実した学習環境を整えようと努めています。一方で、従来の学級担任の役割も大切にしています。

そこで、今回は学級担任の先生方の思いを、学級の目標と共にお届けしたいと思います。それぞれの担任の先生方の思いが伝わってきます。

5年1組

「生(なま)」ではありません。生きるということの大切さを学び、全員が力を合わせていこうという思いがあります。

5年1組では、子ども達一人一人が力を合わせ、やがて一つとなり、最後にはNo.1を目指そうという思いが込められています。



5年2組



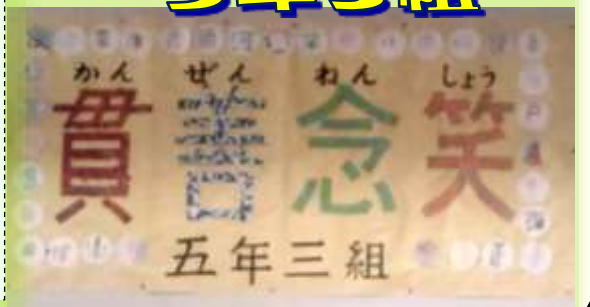
自分で考えて、行動できる人に育ててほしいという思いを込めました。子ども達一人一人が思い描く、カッコいい5年生をイメージしてもらって作りました。

実はこの目標は、よく見るとビリーブのメロディになっています。歌詞に込められた「支える、信じあえる」学級を目指しています。

子ども達が6年生に向けて、高めたい目標を一人一人に聞きました。覚えやすいように、漢字一字に表してもらいました。それを組み合わせて、5年3組オリジナルの四文字熟語を作りました。

よく知られている四文字熟語の読みに自分たちの思いを重ねています。子ども達の心をサポートしてきます。

5年3組



6年1組

最初にクラスの課題をふまえて話し合いました。理想の学級を想定し、そのために、今足りないところを見つけました。

次に、目標に向かって一歩ずつ進みたい、という思いをこめて制作しました。

常に集団を大切に、意識して行動してほしいと願っています。



6年2組

6年2組 学級目標

挨拶
感謝
協力



目標設定の際、自分達の手が届きそうで、実現可能な目標について話し合いました。目標は、守っていこうと意識できるように心がけています。

あいさつや感謝の心などは、中学校に行っても必要なことなので、定着させていきたいと思います。

6年3組



どのような学級にしていきたいか。そのために、まず一人一人が学級目標を作りました。

次に、それらを集め話し合いを重ねました。「当たり前」と思わず、感謝の心を大切にできるような1年間にしたいと思います。集大成になるように応援していきます。

学級担任制度のよさは、細やかな配慮ができることです。

学級担任制度のよいところは、従来のように、担任をしている子ども達一人一人の心に向き合うことができることです。教科担任制度でも、常に担任の子ども達のことを見ることができるよう、各担任の先生方は様々な取組をしています。

- ① 子ども達と日記のやり取り
- ② 朝の準備時間の声かけ
- ③ 休み時間に話したり、遊んだりして過ごす
- ④ 放課後の時間の補充学習
- ⑤ 学活の時間を使った取組
- ⑥ 給食時間の前後など、隙間時間の活用 など

このように、教科担任制と学級担任制を上手に使い分けながら、様々な、取組をしています。それでも、朝教室に入った時、空席があると、とても心配しています。それほど、学級担任の先生にとって、一人一人がかけがえのない宝物です。連日の猛暑のせいか、体調を崩す子どもも増え、心配されるところです。

これからも、子ども達一人一人が安心して学級内で過ごせるように、応援しています。